

学校だより

NO. 24 令和5年2月20日（月）

鈴鹿市立白子小学校



児童集会(2月8日)

代表委員会の児童が準備・計画、当日の司会・進行を行いました。今回の集会のプログラムは右の通りです。

給食委員会からは、事前にとった児童アンケートをもとに、「お代わりをする人の割合」「ご飯派かパン派か」「人気のあるメニュー」などについて、クイズ形式での発表がありました。給食調理員さんから、「白子小の子は残量が少ない。」とよく聞きますが、改めて、感謝して給食をいただいていたほしいと思いました。

また、代表委員会は「廊下の歩き方」に関する寸劇をして、「廊下は右側を静かに歩きましょう。」と全校児童に呼びかけてくれました。安全で安心な学校生活について見直すきっかけとなりました。

コロナ禍で自粛が続いた集会ですが、児童が主体的に活動できる意義のある活動だと改めて感じました。

プログラム

- 1 校長先生のあいさつ
- 2 校歌
- 3 代表委員会からの話
- 4 給食委員会の発表
- 5 代表委員会の発表
- 6 終わりのあいさつ



「校長の話より」・・・今日は、桜がどのように花を咲かせて

いくかについてお話します。・・・実は、桜は一度厳しい寒さにさらされないとつぼみがふくらみはじめないそうです。

桜は夏に、次の年の春に咲く準備ができますが、秋になるにつれ一度眠った状態になります。そして、今のようなとても寒い冬になると眠りから覚めて再び活動を始めます。その後は、みなさんも知っているように、春の温かい光を浴びてどんどんつぼみがふくらみ、綺麗な花を咲かせていきます。

つまり、桜は温かくなってから花を咲かせる準備をするのではなく、寒さで目を覚まして準備を始めるのです。これは、私たちも同じだと思います。春になれば新しい学年に、6年生は中学校に進学します。その時、大きな綺麗な花を咲かせることができるように、今、寒い時期ですが、1年間のまとめのこの時期に、次に向けて小さな努力を重ねて準備を始めることが大切です。残りの3学期、自分の良い点は更に伸ばし、反省点はよりよくなるよう努力していきましょう。皆さん、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



◆1年生「ストップ!いじめ」紙芝居プロジェクト(1月18日)

いじめ防止を目的とした県の事業です。当日は、久居高校と亀山高校の生徒さんによる「とびだしたスーパーボールちゃん」というタイトルの紙芝居を聞きました。あちこち好き勝手に飛び跳ねるスーパーボールちゃんの周りで、些細なトラブルが起こるお話です。

「自分たちの身の回りでも、いじめにつながるようなことをしたり、されたりしていないだろうか?」と、自分の行動を振り返ることができました。



◆第6回学校運営協議会(2月16日)



今年度、最後の学校運営協議会です。主な議題は、今年度の学校の様々な取組の成果と課題に対して、委員の皆様からいただいたご意見をもとに、次年度に向けた改善点を学校側から提示させていただきました。

その中で、委員の方から「クロムブックが導入されて、教員の負担が増したのではないか?」というご質問があり、メリット・デメリットについて委員の皆様からも次のような様々なご意見をいただきました。



(学校) 導入直後は、環境面の整備や操作スキルの習得に労力を要したが、現時点ではそういう負担は

徐々に解消している。月2回来校するICT支援員さんを交えた会議で、活用方法についての助言や実践事例の紹介をしてもらうこともある。クロムブックの使い方(学習以外での不適切な使用など)やネットモラルの問題に対しては、引き続き注視していく必要がある。

(学校) デジタル化の時代、情報活用能力は必要。合わせて、読書を通して培われる豊かな感性や学習の要となる国語力も重要であり、バランスよくそういった力を育みたい。

(委員) クロムブックの導入と共に、読書の機会が減っていないか? 読み聞かせボランティアとして子どもたちに読み聞かせをする際、プロジェクターを使うと、読む方も下を見て読んでいる。やっぱり、子どもの顔を見て読みたい。寂しさを感じる。

(委員) 子どもは、なかなか自分から本を読むことは少ないようだが、読み聞かせは好き。「九つ」の「つ」がつく年齢までは、アナログ的なことをたくさん経験させてあげたい。親が寝かしつけるときに、読んでくれるとよい。



委員の皆さんには、1年間学校の様々な課題や取組について、建設的なご意見や温かいなご支援ご協力を賜り、本当に心強く思いました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

